

《新 環境学習プログラム》～みんなで、取り組みませんか～

これからのエネルギーを考えよう



エネルギーの源と、生成される道すじを聞く3年生

3月13日・板橋区立中台中学校3年生

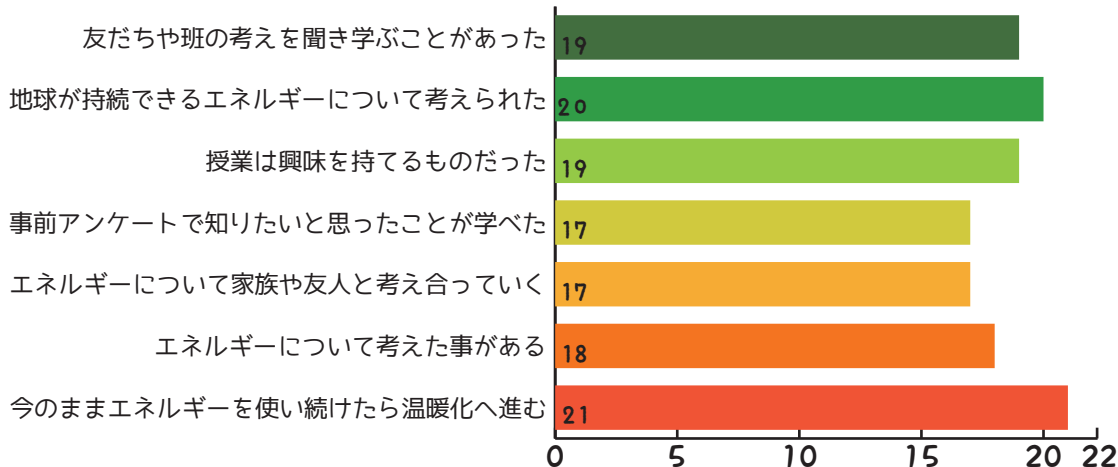
★「地球を守り私たちが大人になったらエネルギーについて中心になって問題を解決していきたい。」
 ★「エネルギーをしっかりと考える事は、自分たちがすむこの地球の未来を考える事だということを学んだ。」

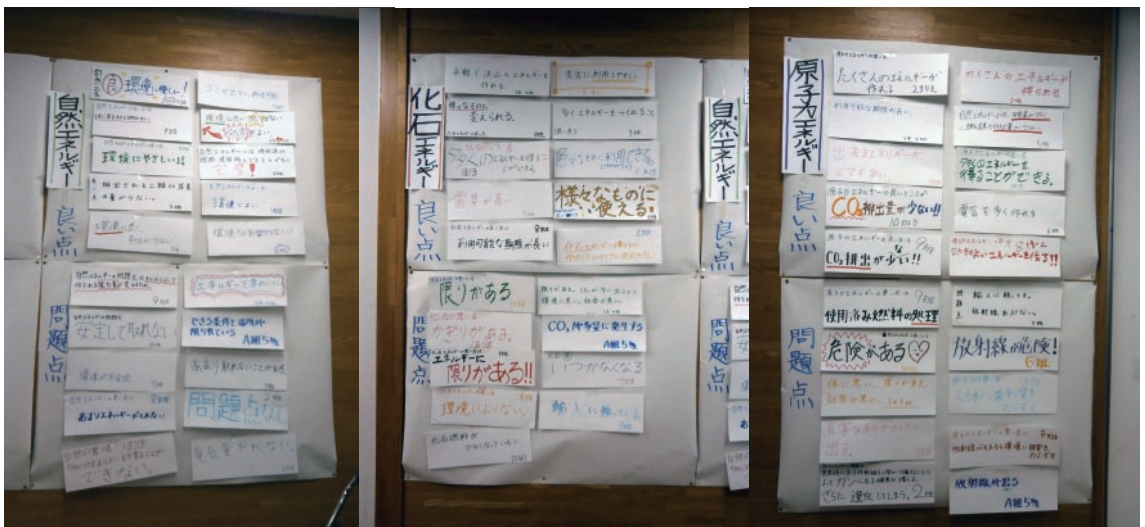
★「わたしたちの行い一つ一つが将来の自分の子供や孫に影響するのだと感じた。」★「未来のために自然を増やし、エネルギーをどんどん増やしていくことが必要だ。」★「この問題は私たちが協力しないと改善されない。」



初めてのエネルギー問題のプログラムを弥生小学校(11月28日)に続き、中学校版を中台中学校3年生(69名)が真剣に取り組みました。

エネルギー授業後のふりかえり中台中学校3年◎22名(1クラス)

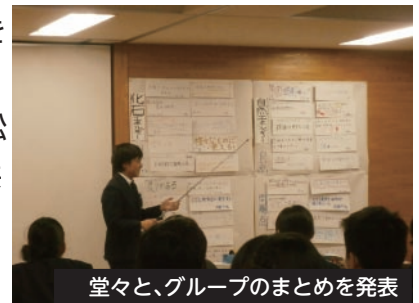




グループでの話し合いから、3つのエネルギー源、長所 短所をカード発表

卒業を控え、学習、運動、文化活動、受験などを乗り越えしっかり成長した3年生が、即席のグループ活動もスムーズに取り組み、(グループワーク写真をご覧ください) 見事な学習姿勢で驚きました。

今回は、板橋区環境教育プログラム部会のメンバー3人(村松しづ子氏・中臺由佳里氏・寺田)がNPOセンスオブアースと共に板橋区資源環境課協働係の協力を得ながら、実施しました。



堂々と、グループのまとめを発表

学習の主な流れ

〔生活・社会で使用する3つのエネルギー源を知る〕 〔手動で起こす風力発電ミニ実験〕 〔3つのエネルギー源の比較(使用時に出るもの、使用済み燃料、自給可能か、再生可能か、環境維持できるかなど)資料を見て長所と短所を考える)〕 〔個人の考えと班の話し合い、発表〕

今回のプログラムは環境学習として、エネルギー源3つの分野を比べ、わかりやすい内容にして、一人ひとりが実行していくめあてを持つ事を目標にしています。

～3年生のみなさんの感想～タイトルから続く

★ エネルギーは限りがある事を知った。私たちが協力しないと改善されない。この先みんながこの問題に向かい合わないといけない。★ ぼくはもっと、自然エネルギーを使っていけばいいと思う。安定して取れないけれど環境に良いから。★ エネルギーを大事に後世に残す事ができるように使っていききたい。★ 今回おもしろかったのがんばって節約しようと思った。★ 私の親は使



い過ぎなど気にしていない。親に話してみようと思った。私たちが生きている間になくなってしまう資源があると知り、とても危機感がある。★ 私が大人になったら、自然エネルギーが一般的で地球にやさしい発電方法が普及しているとうれしい。★ 私たちの世代が変えていかないと地球の寿命が終わると思う。



口をつけて巨大なゾウ? それとも

4歳児の感性!すごい 西台保育園 3/18 4歳児たち大活躍 木の顔

近くにある西台福寿公園は小さいけれども、樹木が多くて子どもたちにぴったり。左右の木とも、雄大で今にも動き出しそうな生きものを表現しました。



ウインクしているみたい

何かお話してくれそうな表情ですね。
サンタさん・サルみたい・ライオン・
たぬきみたい

《発表後の感想》

④なんで選んだかがおもしろかった。④顔をつくるのがおもしろかった。④ウインクしているモモちゃんの顔がおもしろかった。④はがすのがもったいなかった。



どう見えますか? オットセイかな

「お母さんと赤ちゃん」
オー、天才たち

「この顔おやこなの!」木の顔 ときわ台保育園 3/25 5歳児 於 平和公園

もうすぐ1年生。卒園式も終わって、お昼寝がない午後、元気よく活動。子どもたちの鋭い観察力、素直で感性豊かな表現力に脱帽。下の感想を見てください。個性的な感想が続出!

《みんなの印象》

④こまったかお④びっくりしたかお④わらったかお④うれしいかお④楽しそう④かわいい④ばんざいしている④目がアンパンマン④かぞくみたい④双子みたい④ぼうずあたま④まゆ毛④かなしいかお④びっくりしたかお④がーんとしたかお④たんこぶ④あくびしている④うれしい④うれしいキリン④お風呂に入っている④足を上げて④笑っている④かわいい④毛に見える④おこっているかお④おどろいている④おじいさんのかお④せきをしている④アイスを食べている



いい湯だな



わすれものした顔

第2回ダンボールでたい肥づくり&お話づくり



3/23 エコポリスセンター -
SOE主催

講師 SOE 理事 高橋雅俊氏

もうすぐ、野菜など、植え付け時期です昨年3月に続き、評判のよかったたい肥づくり2回目と微生物を主人公にしたお話づくりのワークを行いました。参加者は、19歳の学生から、92歳の元気奥さんまで幅広く、お話づくりも楽しみました。

★簡単ダンボール たい肥づくり

《材料》ダンボール・ピートモス・もみ殻くん炭（ホームセンターなどで購入）新聞紙、ガムテープ、野菜くずを適当に細かく切ったもの

★お話づくり

たい肥づくりを子どもたちと取り組む時に、子どもたちにわかりやすいお話で語りかけるなど、対象は子どもたち。参加者全員が、微生物を主人公に、想像力豊かにいろいろなお話をつくって発表しました。

参加者の声

- ④ コンポストが思ったより簡単にできたので、家でも作ってみたい。微生物が行っている大切な働きやゴミを減量する事ができるように、子どもと学ぶ機会を持ちたい。
- ④ 子どもたちにどのように伝えるかということ意識すると、ポイントを絞って伝えることやどこまで絵にするかを考えないといけないと思いました。
- ④ とても簡単に楽しくコンポストづくりができました。紙芝居についてはみなさんととても素敵なストーリーで、ぜひ本当に実践を見てみたい（やってみたい）実際に作業をしたり紙芝居を考えて、循環型社会ということ意識するよい機会となりました。
- ④ 紙芝居作りも、二人で考えてよい物語をつくることができました。教師が循環型社会についての知識をしっかり持つことが大切だと感じました
- ④ 環境のために自分でもできることが身近にある事を感じた。まずは子どもと知るということを積極的にやっていきたい。
- ④ この会は若い人の参加が多く素晴らしい。循環型社会方向へ世界中が舵を切らないと本当に地球が大変なことになる。
- ④ 循環型社会のことを考えて教育を進めていかなくてはいけないことを痛感しました。



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp